

2019年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年3月29日

上場会社名 株式会社マルマエ 上場取引所 東
 コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR担当 (氏名) 藤山 敏久 TEL 0996-68-1140
 四半期報告書提出予定日 2019年4月10日 配当支払開始予定日 2019年4月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年8月期第2四半期の業績（2018年9月1日～2019年2月28日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	2,106	△0.6	301	△47.8	293	△48.4	191	△53.1
2018年8月期第2四半期	2,118	63.3	576	107.6	569	110.7	408	121.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	14.69	—
2018年8月期第2四半期	34.28	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	8,174	5,193	63.5
2018年8月期	8,088	5,132	63.5

（参考）自己資本 2019年8月期第2四半期 5,193百万円 2018年8月期 5,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年8月期	—	10.00			
2019年8月期（予想）			—	5.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2019年3月29日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正（減配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年8月期の業績予想（2018年9月1日～2019年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,170	△9.1	530	△57.1	510	△57.9	370	△57.3	28.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2019年3月29日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正（減配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期2Q	13,053,000株	2018年8月期	13,053,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期2Q	97株	2018年8月期	97株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年8月期2Q	13,052,903株	2018年8月期2Q	11,911,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示について）

2019年8月期より、日付及び決算期の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動にリスクが残るなか、各種政策の効果もあって、個人消費や設備投資、輸出、生産は持ち直し、企業収益や雇用・所得環境の改善もあり緩やかに回復しました。

当社の主な販売分野である半導体分野では、ロジック向けの設備投資案件の回復が想定通りに続く反面、メモリ向けの設備投資が期首の想定以上に停滞しました。なお、停止していた3D NAND向けの設備投資については、複数社で再開の動きがありながらも、現時点では、今期中に当初想定の世界市場環境まで回復するかは不透明さが残る状況です。FPD分野では、中小型パネル向けは停滞しながらも大型液晶パネル向けの投資は順調に推移しております。

このような経済状況のもと、半導体分野では、当社は次世代の量産品につながる試作品の受注に注力しつつ、前期取得した新事業所の整備や自動化設備の構築を行うとともに、新規に採用した社員の教育や試作能力の強化に注力いたしました。FPD分野では、中小型パネル向けが停滞していることから、大型液晶パネル向けへ受注品種の転換と、顧客の依頼を受けた大型電子ビーム溶接機(EBW)の設備投資を進めました。その他分野につきましては、当社の生産キャパの空きを活用し、太陽電池向けの量産品受注に向けた営業活動を行っておりますが、顧客における性能評価テストに遅れが出ており、量産品の受注から検収の時期について不透明さが出ている状況です。費用面では、前期に設備投資した出水事業所生産設備等に関連する減価償却費や労務費等により製造原価が増加いたしました。販売費及び一般管理費も内部管理体制の強化と出水事業所への管理部門移設費用等により増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上が2,106百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は301百万円(前年同期比47.8%減)、経常利益は293百万円(前年同期比48.4%減)、四半期純利益は191百万円(前年同期比53.1%減)となりました。

なお、当社は精密部品事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資産の状況

(資産)

前事業年度末に比べ、86百万円増加し8,174百万円となりました。主な内容は、有形固定資産が775百万円、無形固定資産が27百万円増加し、現金及び預金が349百万円、売掛金及び受取手形が214百万円、たな卸資産が53百万円、電子記録債権が85百万円、その他流動資産が17百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

前事業年度末に比べ、25百万円増加し2,981百万円となりました。主な内容は、長期借入金が115百万円、1年内返済予定の長期借入金が30百万円、その他流動負債が81百万円、その他固定負債が11百万円、受注損失引当金が5百万円増加し、未払法人税等が187百万円、支払手形及び買掛金が31百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

前事業年度末に比べ61百万円増加し5,193百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の増加及び配当金の支払いにより利益剰余金が61百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の63.5%と同率となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ349百万円減少し、2,262百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、638百万円(前年同期は388百万円の獲得)となりました。これは主に、増加要因として、税引前四半期純利益289百万円、減価償却費232百万円、売上債権の減少299百万円、減少要因として、法人税等の支払額279百万円、仕入債務の減少31百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,005百万円(前年同期は1,191百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出969百万円及び無形固定資産の取得による支出34百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、15百万円（前年同期は278百万円の獲得）となりました。これは長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出154百万円及び配当金の支払額129百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の通期の業績予想につきましては、第2四半期までの業績と受注の動向を踏まえまして、2018年10月10日に公表いたしました業績予想を修正しています。詳細につきましては、本日（2019年3月29日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正（減配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,612,487	2,262,670
受取手形及び売掛金	628,637	414,110
電子記録債権	607,519	522,485
商品及び製品	55,077	51,195
仕掛品	374,013	351,205
原材料及び貯蔵品	36,311	9,356
その他	33,435	15,905
貸倒引当金	△2,590	△1,963
流動資産合計	4,344,892	3,624,967
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,098,503	1,306,031
構築物(純額)	50,017	50,351
機械及び装置(純額)	1,679,464	1,788,630
車両運搬具(純額)	19,482	19,377
工具、器具及び備品(純額)	13,219	18,759
土地	718,112	749,549
建設仮勘定	49,974	471,804
有形固定資産合計	3,628,774	4,404,503
無形固定資産	40,796	68,789
投資その他の資産	73,907	76,713
固定資産合計	3,743,479	4,550,006
資産合計	8,088,371	8,174,973
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	150,400	118,902
1年内返済予定の長期借入金	309,512	339,512
未払法人税等	303,416	116,076
受注損失引当金	6,400	12,100
その他	196,403	277,793
流動負債合計	966,132	864,384
固定負債		
長期借入金	1,977,230	2,092,474
退職給付引当金	10,862	12,179
資産除去債務	1,674	1,065
その他	—	11,241
固定負債合計	1,989,766	2,116,961
負債合計	2,955,898	2,981,345

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,157	1,241,157
資本剰余金	1,938,342	1,938,342
利益剰余金	1,953,032	2,014,187
自己株式	△59	△59
株主資本合計	5,132,472	5,193,628
純資産合計	5,132,472	5,193,628
負債純資産合計	8,088,371	8,174,973

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
売上高	2,118,060	2,106,221
売上原価	1,279,102	1,495,942
売上総利益	838,958	610,278
販売費及び一般管理費	262,404	309,235
営業利益	576,553	301,043
営業外収益		
受取利息	85	63
為替差益	—	1,205
その他	958	956
営業外収益合計	1,043	2,225
営業外費用		
支払利息	7,344	8,995
為替差損	519	—
その他	0	434
営業外費用合計	7,864	9,429
経常利益	569,733	293,839
特別利益		
固定資産売却益	3,999	—
特別利益合計	3,999	—
特別損失		
固定資産除却損	74	4,739
特別損失合計	74	4,739
税引前四半期純利益	573,659	289,099
法人税、住民税及び事業税	172,232	100,221
法人税等調整額	△6,906	△2,805
法人税等合計	165,326	97,415
四半期純利益	408,332	191,684

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	573,659	289,099
減価償却費	132,583	232,822
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	298	△627
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1,800	5,700
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,695	1,317
受取利息及び受取配当金	△135	△63
支払利息	7,344	8,995
為替差損益 (△は益)	△342	△737
固定資産売却損益 (△は益)	△3,999	—
固定資産除却損	74	4,739
売上債権の増減額 (△は増加)	△143,691	299,560
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,391	53,644
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,145	△31,497
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,619	31,019
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,008	17,715
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△20,214	4,251
その他	△115	11,303
小計	574,337	927,244
利息及び配当金の受取額	135	63
利息の支払額	△8,419	△9,175
法人税等の支払額	△177,273	△279,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	388,780	638,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,193,100	△969,923
有形固定資産の売却による収入	4,000	—
無形固定資産の取得による支出	△2,659	△34,749
その他	—	△670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,191,759	△1,005,342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	300,000
短期借入金の返済による支出	—	△300,000
長期借入れによる収入	800,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△449,846	△154,756
自己株式の取得による支出	△59	—
配当金の支払額	△71,216	△129,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	278,877	15,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	342	737
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△523,759	△349,817
現金及び現金同等物の期首残高	2,425,596	2,612,487
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,901,837	2,262,670

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)及び当第2四半期累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。